



THE BAJ NEWS

日本ボストン会 | Boston Association of Japan | 会報 : 54号

今後のイベント

お花見の会、歴史と美術の会、ゴルフの会、音楽の会が次のイベントを企画しています。12ページに詳細を載せましたので奮ってご参加ください。

ボストン日本祭り

4月25日、26日に今年も開催されます。日本ボストン会では日本祭りへの寄付を募っています。祭りや募金の詳細は13ページをご覧ください。

日本ボストン会HP

<http://www.j-boston.org/>

日本ボストン会事務局



〒153-0064 東京都目黒区下目黒

4-17-6



1 ビーコンヒルマーケット (2012年撮影)

ボストンでの議論とその実現化に向けて

岩田 衛

新日本製鐵（現・日本製鉄）の建築技術者・ビジネスマンとして一通りの経験を積んだ40歳初め、1988年から1989年にかけて、MITにVisiting Engineerとして在籍した。ボストン滞在中は大学先輩でSテクノロジーの経営をしていたDr.藤盛紀明（当時・清水建設、前日本ボストン会会長）夫妻にひとかたならぬお世話になった。昭和から平成へ変わった日は住んでいたボストン・ビーコンヒルの半地下のStudioで迎えた。住まいからMITのある対岸のケンブリッジまでチャールズ川に架けられた橋を渡って通った。閑静なビーコンヒル（写真1）、ヨットが浮かぶチャールズ川、MITのドームが今でも目に浮かぶ。

MIT在籍中に、Dr.藤盛に紹介されたProf.J.J.Connorおよび共同研究者のProf.和田章、Dr.川合廣樹と共に「建築物の損傷制御」ができる「損傷制御構造」について日夜議論した。その成果を論文としてまとめ、米国での国際会議で

国宝をぐるっと紹介！

会員のジャメンツさんが共同執筆されましたバイリンガルの書物です。



● 国宝をぐるっと紹介！運慶も快慶も、平安仏か鎌倉仏かも区別がつく。国宝の仏像の側面や背面もぐるっと見られる貴重な1冊です。「興味はあるけど、どう見たらいいの？」「なんとなく見てくすい」で終わってしまう。」仏像の鑑賞には正解も不正解ありません。予備知識がなくても自分の目で見て、充実した鑑賞にする方法を紹介します。

● 著者等紹介

- 鈴木喜博 [スズキヨシヒロ]

1950年東京生まれ。東北大学大学院博士課程後期中退。文化財保存行政（奈良県教育委員会、文化庁）と展覧会等（大和文華館、奈良国立博物館）の仕事に関わり、奈良国立博物館で退官。現在、奈良国立博物館名誉館員。大学・大学院、文化講座・講演会等の講師を務める

- ジャメンツ, マイケル [ジャメンツ, マイケル] [Jamentz, Michael]

1948年アメリカ生まれ。日本中世文化研究家。大学講師。翻訳家（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

● 言語：日英バイリンガル

1992年に発表した。損傷制御構造とは、“構造物は柱と梁からなる主体構造と制振部材の二つの独立な構造システムから構成されると考える。主体構造は常時荷重を支持し、大地震時にも弾性挙動し無損傷である。制振部材のみは損傷するが、地震エネルギーを確実に吸収する。大地震後に制振部材を点検して継続使用あるいは取替を判断する。”

日本のような地震国における建築物の設計にとって、耐震設計法は最重要課題の一つである。現行の建築基準法では、大地震時でも人命を保護することが示されている。逆説的に言い換えるならば、大地震時には居住者の命が奪われなければ、建築物が継続使用不可となるような損傷をしてもよいという最低基準である。1995年1月に起こった阪神・淡路大震災で、全体崩壊には至らなくとも部分的な損傷により、結局、建物全体を取り壊す事例が続出した。この震災後、現行の建築基準法の問題が明らかになり、私たちの損傷制御構造の考え方への世間の評価が高まり一般に認知された。これにより、2003年に日本建築学会賞（技術）を3人で共同受賞した。

損傷制御構造を広く普及させるためには、高性能で低コストな制振部材が必要である。1999年の神奈川大学への転職を機会に、新しい制振部材である「BRBSM: Buckling-Restrained Brace using Steel Mortar planks」の研究開発を始めた。地震力を受け持つ部材であるブレース

(Brace) が座屈 (Buckling、急に横に曲がること) しないように鋼管などで座屈拘束するアイデアの歴史は古く、少なくとも19世紀に遡る。しかし、座屈拘束ブレースを制振部材に用いた場合、大地震の大きな繰返し荷重を受けて

も安定した性能を得ることは容易でなかった。

BRBSMは、2つの鋼モルタル板 (Steel Mortar planks) を溶接によって一体化した拘束材を用いて、ブレースを座屈拘束したも



2 DPL川崎夜光物流施設・BRBSMと私 (2017年撮影)

ので、性能の高い制振部材、そして損傷制御構造が実現化できる。

神奈川大学における20年に亘る多くの実験により、BRBSMの構造性能の詳細を明らかにした。研究開発成果は、2018年3月に鹿島出版会から専門書として出版した（岩田衛著）。BRBSMを適用した建築物が増えている。例えば、大和ハウス工業が取り組んでいる一連の大型物流施設では、BRBSMがキーテクノロジーの一つとなっている（写真2）。また、複数の高層ビル、例えば、衆議院議員会館、神奈川大学が開設する横浜みなとみらいキャンパス等にも採用されている。BRBSMを適用した建築物は、大地震後も主体構造の継続利用が可能であり、長寿命化と財産保護につながる。地域が求める防災拠点としての役割も期待できる。また、建物の解体の頻度が少なくなり、建築廃材および二酸化炭素排出量を抑制でき、サステナブルな地球環境づくりに貢献できる。

半世紀も建築技術者をやっていて、飽きないかと言われている。72歳になっても、建築技術は好きだし楽しい。他に特別な趣味もなく、ずっとやり続けるつもりだ。40歳初めから30年以上研究開発してきた損傷制御構造を、一般の建築物まで広く普及させるという社会的使命もあると勝手に思い込んでいる。最近、より高性能で低コストなBRBSMの改良版特許を新たに取得した。これを日本だけでなく、米国や中国をはじめとした世界の地震災害国にも広げたいという野心もある。ボストンで次世代の建築技術を熱く議論した当時を懐かしく思い出し、これからもできる限り社会に貢献していきたいと思っている。

寄稿 - ボストンと私

帰国子女としての思い

細田 翠

私は現在、コロンビア大学3年生で、比較文学・社会学と生物学のダブルメジャーをしており、プリメド（医学部進学）のコースにいます。私がこのような選択をした背景には、5歳から12歳までニューヨークとボストンで暮らした経験があります。



私は5歳の時に、東京からニューヨークに引っ越しました。その時、英語はdog、cat、helloしか知りませんでした。学校で日本人は私一人だけで、クラスの半分はアフリカン・アメリカン、あとの半分はヒスパニックでした。毎日授業中や放課後にESL（English as a Second Language）に通いました。他の多くの子どもたちはヒスパニックだったので、スペイン語を話していて、先生もスペイン語と英語で教えていました。

友達の家や学校では、多様な文化を経験できました。例えば、ヒスパニックの友人の誕生会にいくと、ピニャータというお菓子の入ったくす玉みたいなものをみんなで割ったりして楽しみまし

た。一方で、学校では風邪を引いたとき付けていたマスクを、感染症には意味がないと言って学校看護師に捨てられてショックを受けたりもしました。

このような多様性のある状況の中で、皆が共通して楽しめたのはアートでした。私は、学校ではコーラス、オーケストラ、バンドに所属し、町の音楽学校にも通っていて、バイオリン演奏やコーラスでカーネギーホール of the stage に立ったこともあります。アートの魅力を共有するコミュニティの一員となることは私にとって貴重な経験でした。

小学4年の時にボストンに行ってから、詩が好きになり、図書館にあるすべての詩の本を借りて読んだりしていました。一番仲の良い友達2人を誘い、3人で1冊のノートを共有し、そこに各自詩を書いて交換したりもしていました。夏休みには、図書館から大量に本を借り、じっくり読む時間を楽しみました。また、陸上部やバスケットボール部で活動し、自然豊かなボストンの環境の中で自転車やハイキングをしたりしました。

このようにボストンでは、詩を書いたり本を読んだりするゆっくりとする時間を過ごしたり、アクティブに運動したり遠出したりする生活を送っていました。さらにボストンでは、授業で解剖をしたり、父の研究室に行って細胞の実験を体験したりと、生物や医学について学ぶ機会が多くありました。ボストン日本人研究者交流会にも、ほとんど毎回両親と一緒に参加していました。

その後、中1で日本に帰り、帰国子女受け入れの中高一貫校に入りました。ここで中高を過ごし、日本の慣習や文化を身に付けたことも私にとって良い経験でした。NYやボストンのような多様性はあまりありませんでしたが、自分なりに楽しみを見つけていました。自分はアートや異文化への関心があり医師にもなりたかったので、幅広く学ぶためには、アメリカの大学が適していると考え、特にリベラルアーツのコアカリキュラムのあるコロンビア大学への進学を決意し、受験合格を経て今に至ります。

現在、哲学や医療人類学や音楽学を学びつつ、有機化学や生物学も学んでいます。文系理系の壁なく、芸術を含めた幅広い領域を学修できることは、人や社会を理解するために重要で、医師になるために必要なことだと改めて思っています。小学生の頃、ボストンで共に詩を書いていた友人の一人は母国インドに戻って医学校に行き、もう一人もボストンで医師を志しています。アートで繋がった3人が、医師になろうとしているのは偶然ではないと思います。

今、ニューヨークというアートや医療の中心に位置するコロンビアで学ぶことができ、大変ではありますが有意義な毎日を送っています。ここで大事と考えられているのは多様性であり、日本でも世界でも多様性を尊重する文化が広がっていけばいいと思っています。



ボストン便り - 5 2020, Feb. 10th

八代江津子

第5弾となりました。

今の話題はなんと言っても大統領選です。通常テレビはほぼ見ない生活をしていますが、大統領選となるとテレビは付けっ放し、という大統領選フェチです。4年前の11月8日は京都駅でフロリダがトランプ氏勝利となり、トランプ大統領の勝利を知りました。偶然隣にいたアメリカ人の家族とその気持ちを1時間にわたり分かち合った思い出があります。

さて、それから3年、4年目を迎えます。トランプ大統領が再選されるのか否か。どうにも心配なところですが。報道にもあるようにアメリカは二つに分断されています。トランプ氏が大統領となる前には感じられなかった現象がこの3年で顕著に現れました。肌で感じるのは、政党による分断です。それまでは政治を深く語らずとも、お互いを尊重し認めるという風潮があり、異政党であろうと政治の話もすることができました。しかし現在は、お互いを強く否定し合うという残念な現象が起きています。冗談のような口論もあり、これらはまるで子供の喧嘩です。

家族や親しい間では常に政治が話題になるのがここアメリカです。食事会やパーティでも今後の政策や政治についての話が一番盛り上がるディベート好きが多いお国柄です。もしかしたらボストン、ケンブリッジという土地柄なのかもしれません。家族内ではよくディベートが行われま

す。我が家でも息子がリパブリカンになり、夫がデモクラットになり、熱い口論が交わされます。翌日は逆に立場を変えての口論。昨日の議論の矛盾を突いたり、と、楽しいものです。

家の中が同じ政党であるから楽しいと言っているのですが、違う政党が家族に居るとかなり大変なようです。

さて、今年の選挙ですが、何があってもトランプ氏を支持する人々とリベラルの攻防戦が続いています。リベラルたちは現大統領が再選されぬのであれば誰でもいいという人が多い中、さてだれが対抗できるのかと見極めようと必死です。ニューハンプシャーでは地元のサンダーが勝利。アイオワではブテジッジ。ニュースレターが出る頃には代表が決まっている頃でしょうか。

昨日ヤング氏が出馬を断念したのがとても残念ですが今後に期待できる潔い決断だったと思います。ブルームバーグ氏が出馬したのは驚きでした。

「楽しい」とは言っていない大統領選ですが、平和だけは守られるようにと祈るばかりです。



Bentley Universityとの交流

近藤 宣之

日本レーザーでは毎年5月に米国Bostonにある（正確にはWaltham）Bentley UniversityのMBA学生の来社を受け入れています。

切っ掛けは私がボストンに駐在していた80年代は、「Japan as No.1（Harvard Univ.のEzra Vogel 教授の著書）で日本に注目が集められていた時代で、たまたまご縁があつて、Bentley College（その後University化）に何度か講義に行ったことです。テーマは「日本的経営と米国的経営の違い」等でした。1993年に帰国したあとに、Bentley Collegeが日本にMBA学生のStudy Teamを送るようになり、今度は日本での講演、講義を依頼されるようになりました。

日本レーザーが日本電子の子会社時代には、午前に日本レーザーでの講義と社員との交流・昼食、午後は昭島の日本電子の工場見学に案内しました。2007年に日本レーザーが日本電子から独立した後は、午前中の来社で、近藤の講義を聞いた後、社員との交流・昼食会等を行い午後はホテルに戻っています。MBA学生たちは、就職した後でいったん退職して入学した学生が多いです。また日本への2週間の視察旅行の多額の参加費や旅費を自費で負担しています。



人員は毎回15～25人です。現在の私の講義は、人を大切に経営とは何か？ 生涯雇用を維持しながら、多様な人財を採用して多様な雇用契約や多様な待遇をどのように実践しているかといった内容です。多くの学生が感銘を受け、米国に帰国後、日本レーザに就職したいとのメールも何度かもらっています。



この進化した人を大切にする日本的経営が多くの地域で広まるよう努力することが私たちの課題であり目標です。（AOTS、国際産業人育成協会、の依頼で人を大切にする経営学会の副会長としてタイのビジネスマンや発展途上国の産業人に年2回ほど同様の講演を英語で行っています。）

ワーキンググループ・活動報告

プログラム委員会 - 映画「UNREST」の上映

細田満和子

日本ボストン会プログラム委員会では、2019年12月3日に、ボストン在住の筋痛性脳脊髄炎患者自らが制作したドキュメンタリー映画『UNREST』の上映会と懇親会を実施しました。翻訳者のお一人でボストン在住の本山真弓さんからのビデオメッセージでは、休めない病気を持ちながら、休まずに生きるための闘いをしている姿が描かれていることを伝えていただきました。

上映会は申し込み人数42人、出席人数34人（内ボストン会会員12人）、懇親会は申し込み人数24人、出席人数22人でした。近藤会長をはじめ、ご参加並びにご協力いただきました皆様、ありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。

また、今回の上映会・懇親会にお越しいただいた方のうち、ボストン会入会希望者・見込み者は、7名（5家族）いらっしゃいました。

病気や障がいがあっても、それが障壁にならない雰囲気は、誰もが生きやすい社会だと思います。お越しいただきましたすべての皆様に、感謝申し上げます。



歴史と美術の会 - 古都鎌倉散策（2019.11.29）

酒井一郎

東京駅から1時間弱で到着する鎌倉。鎌倉に来る度に発見できる魅力。

主なものとしては、1. 源頼朝が開いた鎌倉幕府、鎌倉武士の歴史・遺物 2. 同時代の仏教・禅の歴史、数々の寺の建物・仏像・庭が残されている 3. 多くの山林・草花など四季の自然景観 4. 明治・大正・昭和に至り、鎌倉に住み活躍していた文士の軸・書・屋敷跡などが観られる。



児童の像

多くの魅力を抱える鎌倉で、今回は、駅周辺に位置する“鎌倉文華館鶴岡ミュージアム”と“鐙木清方記念美術館”を選んでみた。鎌倉文華館鶴岡ミュージアムは、極最近2019.6.8にオープンしたばかりである。

1951年に建築家坂倉順三の設計で、日本初の神奈川県立近代美術館として開館された。近代美術館として長く愛されたが、借地の契約切れと共に2016.3.31に閉館となった。同年12月に鶴岡

八幡宮に無償で県から譲渡され継承したもので、耐震・改修工事の後2019.3.28に竣工し、鎌倉文華館鶴岡ミュージアムとしてオープンした。

当日は、鎌倉をテーマとした“季節展示”であった。源頼朝像、武士の精神的よりどころであった鶴岡八幡宮を軸とした天神信仰、鎌倉ゆかりの出土品、水晶五輪塔など貴重な資料と映像で鎌倉を紹介していた。近代になっての鎌倉文士（永井龍男、太宰治、里見弴、久米正雄、大佛次郎ら）の軸・書・原稿など多くの作品が展示されていた。

鎌倉駅から徒歩7分、雪ノ下の住宅地に囲まれた“竈木清方記念美術館”を次に訪問した。当日のテーマは“清方と鏡花”―ふたりで紡ぐ物語の世界―であった。美人画を描く東の清方は西の上村松園と共に、人気美人画家と称されている。当初、樋口一葉、泉鏡花の小説・文学作品の挿絵を描いていたが、文学作品を題材にして、肉筆で清らかで、優美な女性の姿を描く肉筆画家として多くの作品を手掛けた。

明治半ば頃から、美しい文体による幻想的な名作を多く生み出し、人気を集めていた泉鏡花。清方は挿絵画家となった10代の頃から鏡花の文学を愛読し、彼の作品に挿絵を描くことを目標に研鑽をかさねた。23才で初対面を果たし旧知の仲のように打ち解けた二人は親交を深めた。「鏡花作、清方えがく」と扉に記され美しい本を二人で世に送り出した。

ハイキングと紅葉狩りの会 - 令和元年紅葉狩り(小石川後樂園)

中埜 岩男

12月1日 10時にJR飯田橋駅東口改札前に今脇さん夫妻、山崎さん、関さん夫妻、森さん、小野田さん、三好さん、酒井さん夫妻と中埜二人の12名が集合・出発。小石川後樂園では想定外の入園券の行列。時間を気にしながらガイドツアー集合場所に直行。11時前に庭園ガイドの中田さんが来られた。早速ガイドツアーの開始。江戸の諸大名は京都に憧れ、ミニ京都と琵琶湖を庭園内に配置。渡月橋と大堰川や登り道は、綱吉公のご母堂桂昌院の来訪時に改修された



とか。小廬山から庭園を一望した。次は黄門様ゆかりの得仁堂は外観のみ。円月橋が映す円月を見て、奥の梅林に進んだ。光圀と命名された梅の木を観た。隣の稲田は、近くの小学校の生徒が毎年田植えや稲刈りをしているとか。松原脇には風流な酒亭の九八屋。次に蓬萊島を背に紅葉の灯籠の前で集合写真。更に奥の内庭には蓮の葉を浮べた紅葉の池。最後に石畳の中山道を通って大泉水に映える紅葉を楽しみながら集合場所に戻った。2時間強の中身の濃いツアーに大満足。中田さんに感謝。涵徳亭円月の間で食事会。美味しい特製御膳を食べながら暫し歓談。3時半にお開き。天気にも恵まれた楽しい紅葉狩りでした。幸野さんの欠席は残念。

音楽の会

関 直彦・尚子

音楽の会が主催しているメインの活動は、バークレー音楽院、ニューイングランド音楽院、ボストン大学など、ボストンの音楽学校で研鑽を積んだ素晴らしい演奏家を招いて、年に1、2度開催するホームコンサート。演奏の後にはビュッフェスタイルの懇親会があり、多数の会員に楽しんでいただき、好評を得ています。かつてヨーロッパの上流階級で盛んにおこなわれたサロンコンサートを、窮屈ながらもちょっと真似た形です。

令和元年の秋はホームコンサートを休みましたが、音楽の会によるもう一つの活動は、当会の会員となった、そうした演奏家がどこかのホールでリサイタルやコンサートを催す際に、日本ボストン会が後援者として支援することです。そのようなりサイタルなどがある場合、eメールで会員の皆様に案内を送っていますので、できるだけ出席して、そうしたボストンゆかりの若い音楽家を応援し、育てて頂ければ幸いです。

盆石の会2019年11月30日於：島田邸「かしわぎ 桃花源」

水野賀弥乃

日本ボストン会会員の島田充子様よりお盆石の実演のご依頼を頂きましたのは、暫くお盆を打っていない私に取りまして、戸惑いと喜びのないまぜの気持ちでございました。大学2年の時から、次姉が師事しておりました八代梅和先生に師事致しました。在学中に同級生の窪田麻里様がお稽古に加わってくださり、ご一緒に先生の青山のお宅に週一回通いました。それから40余年、窪田様は結婚、子育て、私は留学で間が空きましたものの、先生のお宅でのお稽古に通いました。40代になりまして月一回のお稽古になり、80～90歳を越されてもいつもお綺麗になさってらっしゃる先生にお会いすることを楽しみに通っておりました。高松宮様や鎌倉のお大仏様の高德院様に出稽古にいらっしゃる先生のお話を度々伺いいたしました。先生が転ばれ、骨折、入院、そして施設に入られて、私達はお稽古に伺えなくなってしまうしました。



そのように暫くお稽古がままならない私にも拘わらず、島田様がお声かけくださいました。私が窪田様をお誘いし、日本ボストン会の小野田勝洋様、棚橋征一様、森裕子様のご尽力を頂くこととなり、お蔭様で島田邸「かしわぎ 桃花源」での「盆石の会」が実現致しました。当日は幸いにも20名の皆様にご覧いただくことが出来ました。推古天皇の頃に流れをみるお盆石の歴史、お道具（白鳥、鷹の羽、お匙、お箸、箒、塵取り等）の説明を簡単に申し上げ、実演に移りました。

窪田様は桜貝や珊瑚の可愛らしい色目の入る干潟の景、私は富士山の景を打ちました。窪田様は、ご参加くださった方々に小さな貝殻や珊瑚をお箸で景に置いてくださるよう促して下さって、皆様にもお盆石を体験して頂けました。私達のお盆石よりも皆様にご覧いただきたかったのは、先生直筆のお手本でございます。言葉に尽くしてもその素晴らしさは一見に如かず。小野田様がお手本や私達のお稽古での作品の写真を映像で流してくださいました。

実演が終わりましてから、お抹茶と生菓子、御干菓子、最後に栗（あわ）善哉のおもてなしを頂きました。島田様のお嬢様とご友人の方々が次々とお薄を立てて、お運びをしてくださいまして、皆様と和やかに歓談のひと時を過ごしました。9月5日の準備会から、島田様、森様、小野田様、棚橋様にご連絡を取り合って、当日の楽しいひと時を創ってくださいましたことに、心より感謝申し上げます。また、当日ご出席された棚橋様のご友人から、更にお盆石の実演のご依頼を頂きまして、窪田様とともに再度、実演・体験のお時間を持つこととなりました。私達の拙いお盆ではございますが、日本人でもご存じの方が少ないお盆石について、少しでも多くの方々に知って頂ける機会となりましたら、嬉しく存じます。窪田様と私は、亡き師を偲びつつもお盆を打つ愉しみを、この度、再び味わう機会を戴きましたことに、心より感謝致しております。

ゴルフの会

近藤 宣之

2019年12月10日（火）に飯能グリーンカントリークラブでゴルフ懇親会を開催しました。参加者は、柳沢さん、吉田博さんご夫妻、近藤 の4人でした。参加人数が少ないので懇談と懇親のゴルフでコンペではありませんが、好天に恵まれて楽しくラウンドできました。

令和2年新春港七福神めぐり

中埜 岩男

1月9日午前10時赤羽橋駅改札前に鶴さん夫妻、土居さん夫妻、吉田さん夫妻、水野さん、小野田さん夫妻、藤盛さん夫妻、生田さんに中埜二人の計14人が集合し港七福神めぐりに出発した。最初に東京タワー下の新装された宝珠院の弁天様に池のある庭園を通って参拝し大きな閻魔様に挨拶した。二番目に道路を二ヶ所横切って都会仕様の熊野神社と恵比寿様に参拝。三番目は六本木一丁目駅近くの鎮守の森を持つ久國神社と布袋様に参拝。四番目に神社の前に広場を持つ天祖神社と福祿寿に参拝。五番目に六本木ヒルズとケヤキ坂に近い櫻田神社と壽老神に参拝。六番目に大きな境内を持つ麻布氷川神社毘沙門天に参拝し、集合写真を撮った。七番目に大黒坂の途中にある大法寺大黒天に参拝。振舞いの甘酒になっこり。最後に麻布十番商店街を歩いて十番稲荷神社と宝船とかえる親子に参拝。七福神めぐり終了。次にグリル満点星で食事会。小さな洋食コース



の一品ずつが出された。エビフライとカニクリームコロッケも美味。店のお勧めの牛ヒレステーキとプチオムライスは絶品。最後に集合写真を撮って散会。6 km完歩、お疲れさまでした。帰りに求めた麻布名物たい焼に舌鼓を打った人が多かったとか。

伝統芸能の会 - 歌舞伎観賞

吉野 静子、滝沢 典之

1月13日（成人の日）、「伝統芸能の会」恒例の「国立劇場新春歌舞伎公演観劇会」を開催いたしました。22名の会員が集いました。演目は四世鶴屋南北の『御国入曾我中村（おくにいりそがなかむら）』をアレンジして上演。両花道を使うなど様々な趣向を盛り込み、令和初の正月にふさわしい、華やかで楽しいお芝居でした。主演役者は尾上菊五郎、中村時蔵、尾上松緑、尾上菊之助。参加者は観劇の前に、伝統芸能情報館に集合し、講師北潟喜久氏のレクチャーを拝聴しました。正面玄関での記念撮影、昼食歓談後、観劇、舞台裏見学を行いました。今回の特徴は両花道ということで、舞台裏見学も多くの皆様が参加され、楽しい時間を過ごすことができました。また、次回も多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。



第27回総会 - 於：日本電気芝俱樂部

土居 陽夫

2019年11月26日（火）、日本ボストン会総会は例年と同じ日本電気の芝俱樂部で開催された。参加者が揃ったので開会時間を少し早め、近藤会長の挨拶で始まった。会長より会の若返りを期したいとの話があった。続いて恒例の吉野初代会長による乾杯、参加者やゲストのお話があり、懇談の後、酒巻会員のキーボードと歌唱指導で歌を楽しんだ。参加者は京都からのジャメンツさんやゲストの方ほか40名。



今後のイベント

お花見の会

3月28日に小田原城址公園でのお花見を計画しておりましたが、昨今の新型コロナウイルスの状況に鑑み、今年は中止し来春に順延することになりました。

次回お花見の詳細は、来春ご案内申し上げます。

[問合せ\(Click\)▶](#) 

ゴルフの会

4月7日（火）飯能グリーンカントリークラブ（3組予約済）

スタート時間： 10:13、10:20、10:27

飯能駅からのクラブバスは、飯能駅南口より9:30発（又は9:00）（所要10分）

これに間に合う西武池袋線 池袋発は

8:26発、9:21着（急行）又は8:30発、9:12着（特急）

飯能は東京都心部より寒いので運がよければ桜が楽しめます。

奮ってご参加下さい。

[申込\(Click\)▶](#) 

美術と歴史の会

東京都美術館（上野）で特別展「ボストン美術館展 芸術X力」が開かれます。

著名な古備大臣入唐絵巻と平治物語絵巻が揃って里帰りするほか、諸国の名品が多数展示されます。

美術と歴史の会で本展を次のように鑑賞します。多数の方の参加を期待します。

日時：2020年4月17日（金） 午前10時入場開始

集合場所：東京都美術館の正門前ロビー（野外）

昼食：参加希望者に別途お知らせします（予価：4,000円）。

昼食後に解散します。

入場料金は一般者で1,600円、65歳以上の方は1,000円です。割安（200円引き）の前売り券がコンビニなどで現時点で購入できます。

参加を希望される方は3月1日までに担当幹事まで電子メールでご連絡ください。

担当幹事 篠崎：motoshibass@xb3.so-net.ne.jp、酒井：f1-sakai@ab.cyberhome.ne.jp

三好：mysakira@jcom.home.ne.jp

なお入場券は予め各自でご用意ください。

[申込\(Click\)▶](#) 

音楽の会

作曲家兼ピアニストの戸口純さんの再登場

客演： ソプラノ歌手酒巻則子さん

日時： 5月10日（日）2時開演、 場所： 関幹事宅

会費： 5,000円

[申込\(Click\)▶](#) 

ボストン日本祭り

今年も4月25、26日にボストン日本祭りが開催されます。毎春ボストンコモンで開催され多くの来場者に日本の文化・伝統を伝える大変有意義な催しとなっています。昨年の様子は添付オーウェンズさんからの写真をご覧ください。

今年も皆様からのご寄付（協賛金）を募ります。多くの方々のご参加を期待しております。

（日本ボストン会事務局）

1口3千円

送金先： みずほ銀行浜松町支店・普通預金 No.1578981・日本ボストン会

- ボストンからのメッセージ -

日本ボストン会の皆様

いつもボストン日本祭りのご支援をいただきましてありがとうございます。実行委員会事務局のオーウェンズと申します。

昨年のイベントの様子は下記リンクに写真を保存していますのでご覧ください。

<https://www.dropbox.com/sh/7414idkkh25z812/AACxPw3u42XolWoXaMVP5dfva?dl=0>

今年の日本祭りを2か月半後に控え、私たち実行委員もミーティングを重ねて準備を着々と進めております。今年は東京オリンピックが開催されるということもありまして、アメリカのオリンピックチームのTeamUSAのトラックが会場に来る予定です。下記がそのトラックのプロモーションサイトで、全米を回っています。

<https://www.teamusa.org/OREOforTeamUSA>

是非日本ボストン会の方々にも、この日本祭りが開催されるボストンコモンにお越しいただければと思います。何卒宜しくお願い致します。

オーウェンズ / Miho Owens

Japanese Business Bureau of Boston

PO BOX 2238, Natick, MA 01760

Tel: 781-728-5739, owens@jbboston.org

NPO 501(c)(3)